

インドネシア・バリ島カカオ農家・地域支援協賛募集

持続可能な未来を築くためのパートナーシップ

■はじめに

インドネシア・バリ島カカオ農家・地域支援プロジェクトは、芦屋のチョコレート店cherry.cと京都のエムアンドエム・インベストメント株式会社の共同プロジェクトとして発足いたしました。本プロジェクトは、バリ島で育てたカカオおよび支援した農家のカカオを使用して製造されたチョコレートを販売することを目的としています。（苗の植樹からカカオの実が収穫できるまでには3年を要するため、当初は世界各地のカカオを使用します。）

■目的

多くのインドネシアのカカオ農家は、自分たちが生産したカカオがどのように加工され、最終製品として消費者に届けられているかを知りません。また、私たち消費者も、原料となるカカオがどのように生産され、カカオ農家がどのような状況にあるのかを十分に理解していない場合が多いです。「カカオを通じてインドネシアと日本を繋ぐ」ことを目指し、このプロジェクトが立ち上げられました。

■カカオ農家の現状

インドネシアの一部地域では経済状況が急速に悪化しており、その影響でカカオ農家の生活も困窮しています。こうした厳しい環境下で、農園を売却し生活資金に充てようとするケースも見受けられますが、それでも資金が尽き、スラムやゴミ山に流入する人々は後を絶ちません。この状況を改善するため、プロジェクトの進行速度を加速させ、早急に「チョコレート産業の創出」という段階に進む必要があります。

■取り組み

私たちの掲げる「カカオ革命」では、インドネシアのカカオ農家がカカオ生産だけでなく、様々な形で関わることにより新たな雇用を生み出すことを目指します。また、廃棄されていた殻や皮、B級カカオを線香やチョークの原料として活用するなど、SDGsにも取り組んでいます。フェアトレード商品は品質に妥協したものと見なされることがありますが、cherry.cが関与する以上、皆様を失望させるような商品は提供しません。インドネシア発の高品質な商品を日本に届け、商品自体の価値を認めていただける完成度を追求しています。

■地域支援の重要性

我々の活動は地元地域の理解を得て進めており、プロジェクトは地元地域の協力なしに

は成り立ちません。地域の発展はカカオ農家の持続可能な未来を築く上で重要な役割を果たします。地域には貧しい子供たちがおり、ノートやペンを買えない子や学校に通えない子もいます。これを受け、地域貢献活動として、地元の小学校（タバナン地区政府教育担当管轄 バヘラ第2州立小学校）へ文房具の寄付を行いました。今後も継続的に文具の提供や給食支援を行い、支援地域を広げていきます。

■協賛募集の目的

インドネシア・バリ島カカオ農家・地域支援プロジェクトの協賛募集の目的は以下の通りです。

- 農家の収益安定化の支援
- カカオ不足高騰の解消
- 地域小学校への教育支援
- 地域全体の経済発展の促進

■協賛の具体的な形態

協賛は広告を通じて行われ、以下の内容を予定しています。

- ファームに企業名の看板を設置
- ファームの命名権
- 支援文具に支援企業名
- ホームページやインスタグラムに支援企業名掲載

■協賛への参加方法

協賛に参加する方法は以下の通りです。

1. 支援したい形態を選択
2. 協賛申込書を提出
3. 協賛内容の詳細を確認
4. 支援を開始

■まとめ

世界中でカカオやコーヒー豆などの農作物が不足している原因は、農家の困窮や自然環境の変化、労働者不足、中間買取業者の搾取による生産販売価格の低下にあります。持続可能な農業を続けるためには、地域支援と協賛を通じて農家の収益安定化を図ることが必要です。これにより、地域全体の経済発展に寄与し、持続可能な社会の構築に繋がります。

皆様のご協力とご支援を心よりお待ちしております。